

3. 駅西本町1丁目遺跡

所在地：金沢市駅西本町1丁目地内

北緯 36° 58' 02"

東経 136° 64' 09"

調査面積：395 m²

種 別：集落跡

主な時代：弥生時代

担 当：庄田 主査



■遺跡の概要

駅西本町1丁目遺跡は、本調査地の南西隣接地において平成13年度の試掘で発見された遺跡で、同年度に第1次調査として約300 m²の発掘調査を実施して弥生時代後期～終末期の土器のほか、剣形・刀形・舟形や木包丁など多彩な木製品が出土し、その発掘調査成果は平成17年3月に刊行された金沢市文化財紀要226『駅西本町1丁目遺跡』で報告されている。

今回の発掘調査は駅西本町1丁目遺跡の第2次調査にあたり、民間事業者の集合住宅建設に先立ち、土木工事が影響する範囲395 m²について実施され、弥生時代の川跡2条、建物2棟、土坑4基のほか、溝跡や建物柱穴等の小穴多数を検出し、とくに川跡からは、弥生時代後期～終末期の土器や木製品が多数出土している。

SB01(平地式建物)

調査地北東部で検出した掘立柱建物で、周溝が二重に掘りめぐらされている。柱穴は周溝の中央部に約3.3m間隔で正方形に4本建てられている。周溝は隅丸方形に掘られており、内側の周溝(SD08-1・SD08-2)は外径約6.8～7.0mで幅0.3～1.3m、外側の周溝(SD05)は推定外径約13mで幅約0.6～0.7mの規模となっている。また、内側の周溝は、南西部がつながっていないため、この部分が入り口だったと考えられる。

SB01の中央で検出した直径約50～65cmの小穴(SK02)は、炭化物が多く含まれる土壌で埋まっていたことから炉跡と考えられる。また、SB01内側の周溝(SD08-1・SD08-2)内の床面は、全体が厚さ約2～3cmの炭化物で覆われており、建物が火災で焼失した可能性がある。

SB02(掘立柱建物)

調査地南部で検出された掘立柱建物で、長方形の四隅に木柱根をとまなう柱穴が北東-南西方向で約3.1m、北西-南東方向で約1.9m間隔にならぶ。SB02の南東側は今回の調査区外で未調査だが、建物の範囲はさらに南東に続く可能性がある。SB02の周溝は確認されていない。

SD06(平地式建物周溝の可能性あり)

調査地南部で検出した幅0.5～0.9mの溝で、北東から南にかけて長さ約9mを確認した。溝両端部は鈍角に屈曲しており、その形は平地式建物の周溝の一部のようにも見える。この溝に伴う建物の柱穴は調査区外に推定されるが確認されていない。

SD01(弥生時代の川跡)

調査地南西部から北部にかけて、幅約8.6～9.2m、長さ約18.5mの流路が確認された川跡で、深さは約1.1mまでを発掘し、弥生時代後期～終末期の弥生土器や木製品が見つかった。川跡の堆積土

はさらに深くまで続いていたが、湧水により掘削が困難となったため、以下の掘削は断念した。

SD03(弥生時代の川跡)

川跡1の上層西岸付近で確認された幅約0.85～1.55m、深さ約15cmの溝で、川跡1が堆積土で埋まって幅が狭まり、ほぼ平地になった段階で表層を流れていた浅い流路とみられる。川跡2は最終的に植物の繊維を多く含む腐植土で埋まっていることから、川跡がなくなる直前は湿地のような状態になっていたと考えられる。

出土遺物

SD01・SD02(弥生時代の川跡)を中心としたエリアから、カメヤツボ、高杯等、弥生時代後期～終末期の弥生土器が出土している。また、川跡の土壌は湿潤な環境だったため、木製遺物が水漬けで真空パックされ良好に保存された状態で出土した。特徴的なものとしては鍬の刃や鋤柄、一木づくりの梯子、足付の容器等がみられる。

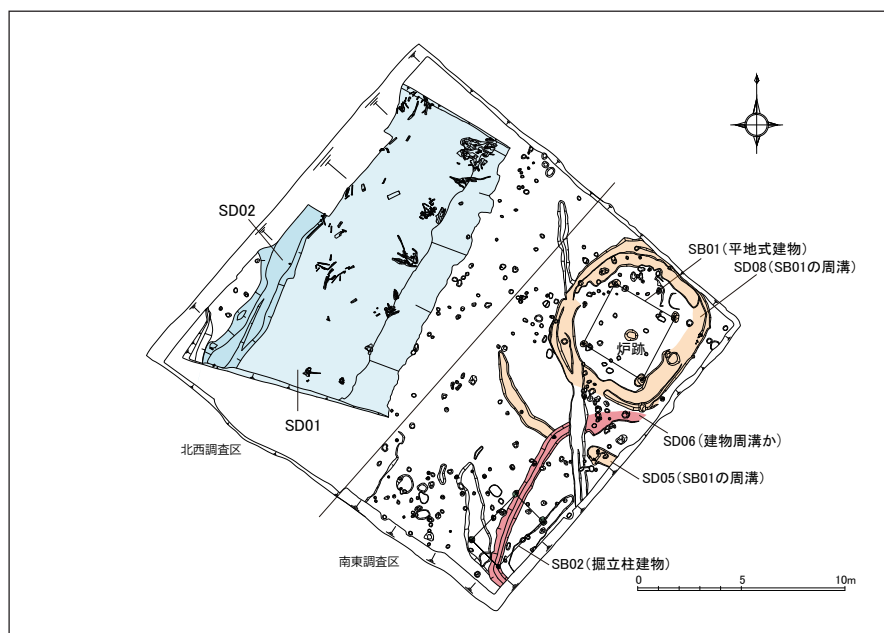
まとめ

駅西本町1丁目遺跡では、弥生時代後期～終末期にかけての集落遺跡が、建物跡を伴い良好に残された状態で確認された。なかでもSB01の平地式建物は限られた調査範囲内で主要部分の大半を確認することができたことで、遺跡の性格を位置づける重要な発見となった。

調査地の約半分の面積を占める弥生時代の川跡からは、まとまった量の弥生土器や木製品を得ることができたことから、遺跡の年代や当時の人々のくらしをより具体的に知りうる資料となった。



駅西本町1丁目遺跡発掘調査 位置図



駅西本町1丁目遺跡発掘調査 遺構図



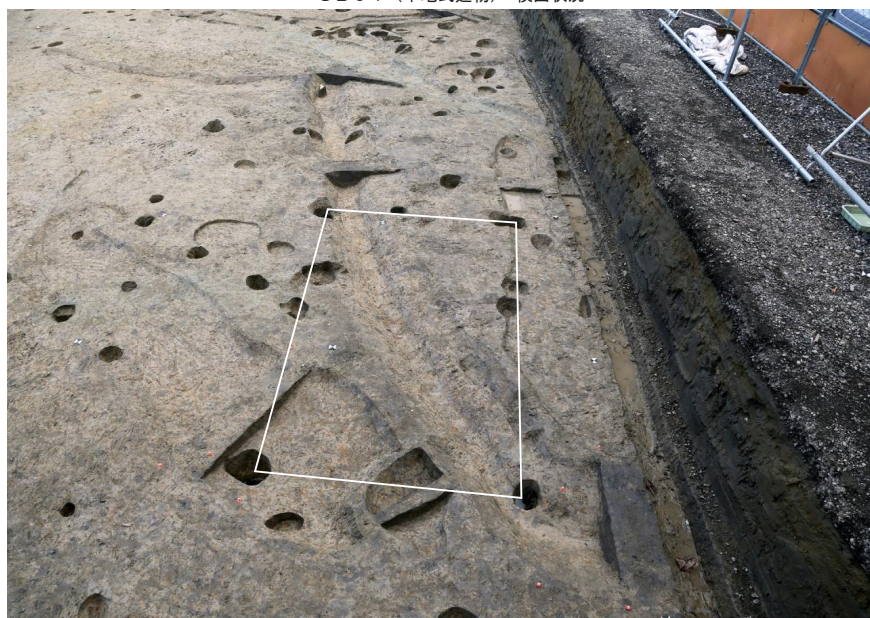
駅西本町1丁目遺跡 北西調査区全景



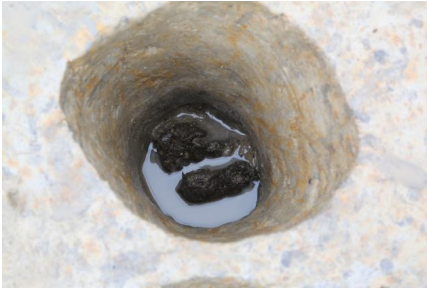
駅西本町1丁目遺跡 南東調査区全景



SB01 (平地式建物) 検出状況



SB02 検出状況



SB01の柱穴



SB02の柱穴



SD01東岸の遺物出土状況



SD01 弥生土器高坏出土状況



SD01 弥生土器カメ出土状況



SD01 木製鋤出土状況



SD01 木製足付容器出土状況



SD01 木製鋤柄出土状況

4. いずも いせき 出雲じいさまだ遺跡

所在地：金沢市戸板1丁目1番

北緯 36° 34' 45"

東経 136° 37' 21"

調査面積：195 m²

種 別：集落跡

主な時代：古墳時代

担 当：谷口 所長 前田 主査



遺跡の概要

出雲じいさまだ遺跡は弥生時代から中世の集落遺跡で、平成14年(2002年)度から平成29年(2017年)度までに8回、のべ13,325 m²が発掘されている。報告書は平成17年(2005年)から令和2年(2020年)までに7冊刊行されている。このうち最大規模の調査となったのは、平成22・23年度に金沢市立戸板小学校を移転・新築するために行った、校舎新築部分6,250 m²を対象にしたものである。

検出された遺跡の範囲は南北約285m、東西約110mにおよび、西側で桜田・示野中遺跡に接している。遺跡のうち北部は弥生時代後期と平安時代の集落が、中央部から南部は古墳時代前期から中期の集落が分布している。特に古墳時代前期には、多数の堅穴式建物(平地式住居)と土壇墓が切りあいながら存在し、各遺構の覆土に緑色凝灰岩製の管玉や腕飾類の制作を示す遺物が多く含まれていることから、玉作り集団の集落と考えられる。

今回は戸板小学校のプレイルームを増築するため、工事範囲の全面を発掘調査の対象とした。既往の調査区に接する形で調査区を設定し、約2週間の発掘調査を行った。調査の最終日には、6年生の生徒全員に現地の遺構や学校建設の際に発掘された出土品を紹介するミニ現地説明会を行った。

遺構の概要

近世・近代の用水や攪乱が調査区の約3割を占めているため、検出できた遺構は少ない。土坑は14基確認した。長軸1.2mほどのものと長軸0.8mほどのものの2種類がある。平面形は円形から楕円形で、いずれも深さは1m未満である。覆土に古墳時代前期の土師器片が含まれているが、意図的に埋めたものとは考えられない。ただし2基ほどは覆土に炭化物の小片を多く含んでいるため、火を始末した跡なのかもしれない。ピットも14基検出した。直径0.3mほどで、柱根やその痕跡は検出されなかった。ピット間の距離や方向に法則性がなく、建物や堀などを構成しているようには見えない。

出土遺物

それぞれの土坑とピットから古墳時代前期の土師器が出土した。土師器の多くが甕・高坏の摩滅した小片であり、使用後に投棄したものと思われる。玉作り関連遺物は出土していない。

まとめ

今回の調査区は、その位置や出土した遺物から古墳時代前期の集落の一部とみられる。しかし過去に建物や土坑墓が集中して検出された区域とは異なり、居住域や墓域ではなく、不要となった日用品(土器や木製品)を投棄した区域であったと考えられる。



調査区完掘状況



SK6012断面



ミニ現地説明会

5. 南新保ゴマジマチ遺跡【南新保遺跡群】

所在地：金沢市大友一丁目地内

北緯 36° 35' 56"

東経 136° 37' 42"

調査面積：8,750 m²（令和6年度調査分含む）

種別：集落跡

主な時代：弥生時代・古墳時代

担当：鏡 主事



■ 南新保ゴマジマチ遺跡発掘調査の概要

本遺跡の発掘調査は金沢市南新保土地区画整理事業に伴うものである（南新保C遺跡の項を参照）。今年度調査を実施した南新保ゴマジマチ遺跡6区は、令和6年10月に調査着手し、冬季休工を経て令和7年3月より調査を再開した。主な遺構としては、弥生時代の方形周溝墓（1基）、布掘建物（3棟）、掘立柱建物（3棟）、溝、土坑、ピット、古墳時代的前方後方墳の周溝（2基）、陸橋をもつ方墳の周溝（1基）を検出した。出土遺物は、弥生土器、土師器、木製品、石製品、玉製品などがある。

【検出された古墳】

特に古墳時代前期の方墳1基と前方後方墳2基の計3基の古墳が検出されたことが特筆される。3基とも墳丘は後世の削平を受け消失しているが、前方後方墳の周溝からは底部穿孔壺等の土器や多様な木製品が出土しており、特に笠形木製品の出土は北陸地方初の事例であり、古墳祭祀の実態を解明する上で極めて意義深い。

1号墳（SD6016）は陸橋部をもつ方墳である。墳丘規模約11.7mで、周溝幅は約1.5～3.2m、周溝の深さは約0.10～0.55mを測る。北側周溝に造られた陸橋は、中央から少し東側にずれて設けられており、幅は0.7～0.9mと狭いが、陸橋部周囲の周溝は幅広で深く掘削されていることから、陸橋を意識して造っているのは明らかである。出土遺物は非常に少ないが、特に口縁部に竹管文、肩部に矢羽根状の文様をもつ二重口縁壺が出土しており、3基の中で最も古い時期を示す。周溝の形状や陸橋の存在から、前方後方墳への過渡的形態を示す方墳と位置づけられる。

前方後方墳である2号墳（SD6021）は、墳丘規模約34.0mを測り、北加賀最大の規模をもつ。墳形は、前方部が撥形、後方が方形を呈する。周溝くびれ部の墳丘側からは、底部穿孔壺が出土しており、古墳時代前期に比定される。土器は周溝の底から約15cmの覆土中で出土しており、墳丘部に供献されたものが転落したと考えられる。また、周溝からは多様な木製品が出土しており、特に板状木製品は前方部周溝から集中して出土している。笠形木製品は後方部及び前方部周溝より計5点出土しており、墳丘周囲に配置されていたと考えられる。なお、後方部南溝の外側では杭が自立した状態で確認されたが、笠形木製品の付近で出土した支柱の可能性のある杭状木製品とは木取りなどが異なることから、笠形木製品の支柱となるかは不明である。

3号墳（SD6035）は前方後方墳であり、2号墳の後方部北溝から約2mの間隔をあけて並列し、墳形及び規模についても2号墳とほぼ同様である。同形・同規模・同軸の前方後方墳が並列する例はほとんどなく、非常に珍しい事例である。時期的に近接すると考えられるが、2号墳より前方部周溝が非常に浅く、不明瞭であることから、古い時期の特徴が見いだされる。後方部周溝は幅約4.5～6.5m、

深さ約 0.35m、前方部周溝は幅約 2.5～3.0m、深さ約 0.15mを測る。2号墳同様周溝からは多数の木製品が出土しており、特に笠形木製品 1 点が後方部から出土している。また、くびれ部周溝からは、建材や柵かと考えられる別材を組み合わせた木製品が出土しており、墳丘上での使用が想定される。

【出土した笠形木製品】

2号墳からA～Eの5点、3号墳からFの1点、計6点の笠形木製品が出土した。

残り具合の良いAやBは、外面半球状、裏面は平坦で中央に方形の穴があけられ、外面にも複数の穴があいていることが確認できる。Aは外面に 85 mm×40 mmの円形の穴が2箇所あり、復元すると4～5つの穴があいていた可能性がある。Bは側部下端で面取りをしている可能性がある。外面に 70 mm×60 mmの円形の穴が2箇所、57 mm×20 mmの長方形の穴が1箇所あけられている。円形の穴は対になる位置にあり、2つの穴が内部でつながっていた可能性があるが、長方形の穴は貫通していない。Fは、側部下端は面取りをしている可能性があり、小ぶりな製品である。

同様の出土品として、畿内（現在の近畿中央部）を中心とした古墳時代中期～後期初めの古墳から出土する「笠形木製品」が挙げられる。「笠形木製品」は「蓋（貴人に差し掛ける長柄の笠）」を模した木製品で、円盤状の笠部と杭状の支柱からなり、古墳の周囲を取り巻くように立てられていたことが発掘調査で判明している。これは盾形、鳥形とあわせて「木製埴輪」といわれている（鈴木 2011）。畿内を中心に出土する「笠形木製品」のほぼ全てに古墳専用品材であるコウヤマキが用いられることから、王権中枢との結びつきを示す行為であると考えられている（鈴木ほか 2016）。古い段階の「笠形木製品」は大きく隆起する半球状に近い形状で、側部垂直面の髹表現、裏面の円形削り込み、貫通する中央孔など、モデルである「蓋」を忠実に再現している。一方で時代が下ると平面形態が楕円形のものや側面形態が扁平になるものが増え、側部の髹表現も省略され、裏面の削りが方形になるなど、デフォルメ化が進むようになる（鈴木 2002）。

今回出土した笠形木製品は、上記の畿内周辺で出土する「笠形木製品」よりも古い古墳時代前期のものであり、畿内周辺出土のものにはみられない特徴をもつ。

しかし、今回出土した笠形木製品は、外面にひび割れや年輪の浮き立ち、腐朽が裏面よりも強くみられることから、外面が風雨や日光に長時間繰り返しさらされる環境、つまり前方後方墳に一定期間たてられていた使用状況が考えられる。また、周溝からは支柱となるような杭状木製品も複数出土しており、笠形木製品に組み合うことも想定される。以上のことから、畿内周辺出土の「笠形木製品」と同様の目的をもった使用、つまり墳丘にたてる古墳祭祀が行われていたものと考えられる。

【まとめ】

南新保ゴマジマチ遺跡では、北加賀最大の前方後方墳及び並列する同形・同規模の前方後方墳、前方後方墳への過渡期を示す方墳が検出された。北加賀最大の前方後方墳の存在は古墳時代前期に地域の有力者が本遺跡周辺に存在していたことを示すものである。また、時期的変遷のある古墳の発見は、複数世代にわたって勢力が継続した状況を示す。

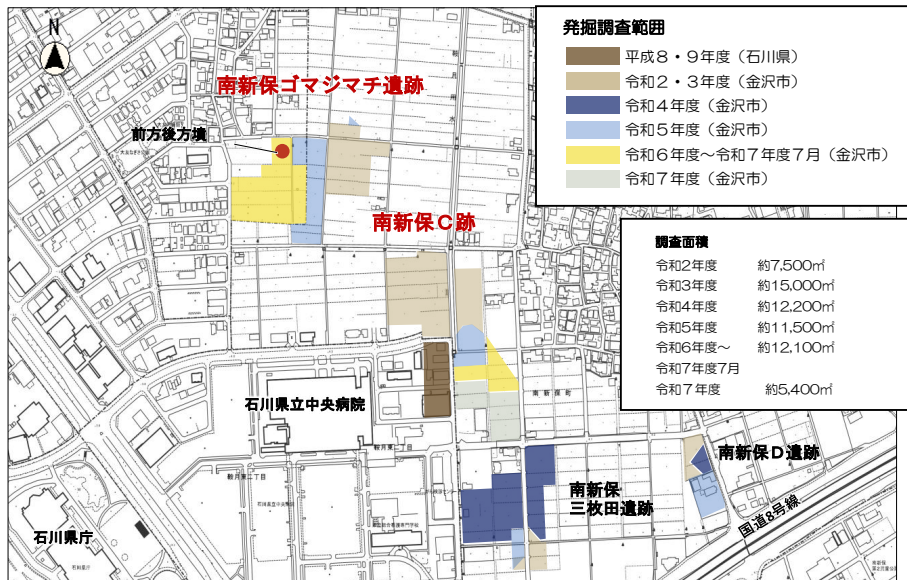
さらに、前方後方墳からは北陸で初めてとなる笠形木製品が出土しており、古墳被葬者の特異性を示唆する。笠形木製品は6点の出土があった。古墳時代中期～後期はじめ畿内周辺出土の「笠形木製品」とは系譜が異なるが、同様の使用状況が考えられる。前方後方墳からの出土は国内初の事例であり、木製品を前方後方墳にたてる古墳祭祀が行われていたことが明らかとなった国内最古の事例である。これまで考えられていた前方後方墳の祭祀形態に一石を投じる貴重な新発見であるといえる。

（引用文献）

鈴木裕明 2002「笠形木製品覚書—四条7号墳出土例を中心として—」『博古研究』第23号 考古学研究., 1-16 頁

鈴木裕明 2011「⑤埴輪樹立と木製樹物」『古墳時代の考古学 3 墳墓構造と葬送祭祀』同成社, 84-94 頁

鈴木裕明、石田大輔、福田さよ子、高橋敦 2016「小墓古墳出土笠形木製品の研究」『奈良県立橿原考古学研究所紀要 考古学論攷』第39冊, 23-46 頁



南新保遺跡群発掘調査範囲



南新保ゴマジマチ遺跡6区 遺構全体図



建材か 柵か



壺



笠形木製品(F)

南新保ゴマジマチ遺跡 前方後方墳出土品



左上:大型壺 左下:笠形(B) 右:板状木製品



左上:鋤 左下:板状木製品 右上:底部穿孔壺



板状木製品と両端にほぞのある方形木製品



孔のある板状木製品



樹立する杭状木製品(芯持ち材)



笠形木製品(A)



杭状木製品(割材)



笠形木製品(A)



樹立する棒状木製品 断面図

6. 南新保C遺跡【南新保遺跡群】

所在地：金沢市南新保町地内

北緯 36° 35' 48"

東経 136° 37' 57"

調査面積：4,600 m²

種別：集落跡

主な時代：弥生時代・古墳時代

担当：鏡 主事



■ 南新保遺跡群の概要

南新保遺跡群は、金沢市南新保町地内において金沢市南新保土地区画整理組合が施工する金沢市南新保土地区画整理事業地内で発掘調査を行っている遺跡の総称で、南新保C遺跡、同D遺跡、同三枚田遺跡、同ゴマジマチ遺跡が含まれる。発掘調査は令和2年度から同10年度（予定）まで計画されており、6年目となる同7年度は南新保ゴマジマチ遺跡（令和6年度からの繰越調査）、同C遺跡の2遺跡の調査を行った。南新保遺跡群は金沢平野北部、犀川と浅野川に挟まれた金沢港まで約2kmの臨海部に位置する。かつては沼が広がり、小川が網目状に流れるような低湿地の中に点在する微高地上に集落等が営まれる立地環境であったと考えられる。周辺には弥生時代の大集落として知られる西念・南新保遺跡などが所在する。

■ 南新保C遺跡発掘調査の概要

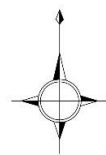
南新保C遺跡は、過去において平成8・9年度に石川県埋蔵文化財センターによる発掘調査が行われたほか、同区画整理事業に伴う発掘調査が令和2～6年度に行われている。特に弥生時代中期～古墳時代中期の住居跡や墳墓が多数検出され、当時の生活を生き生きと伝える多彩な土器や木製品、石製品が出土しており、大規模な集落が営まれていたことが明らかになっている。

令和7年度の発掘調査は別図（南新保ゴマジマチ遺跡の項を参照）の箇所で開催し、方形周溝墓1基、平地式建物3棟、掘立柱建物1棟、土坑、溝、ピットが検出された。出土遺物は、弥生時代中期後葉～古墳時代前期の土器、土師器、木製品、石製品などがある。

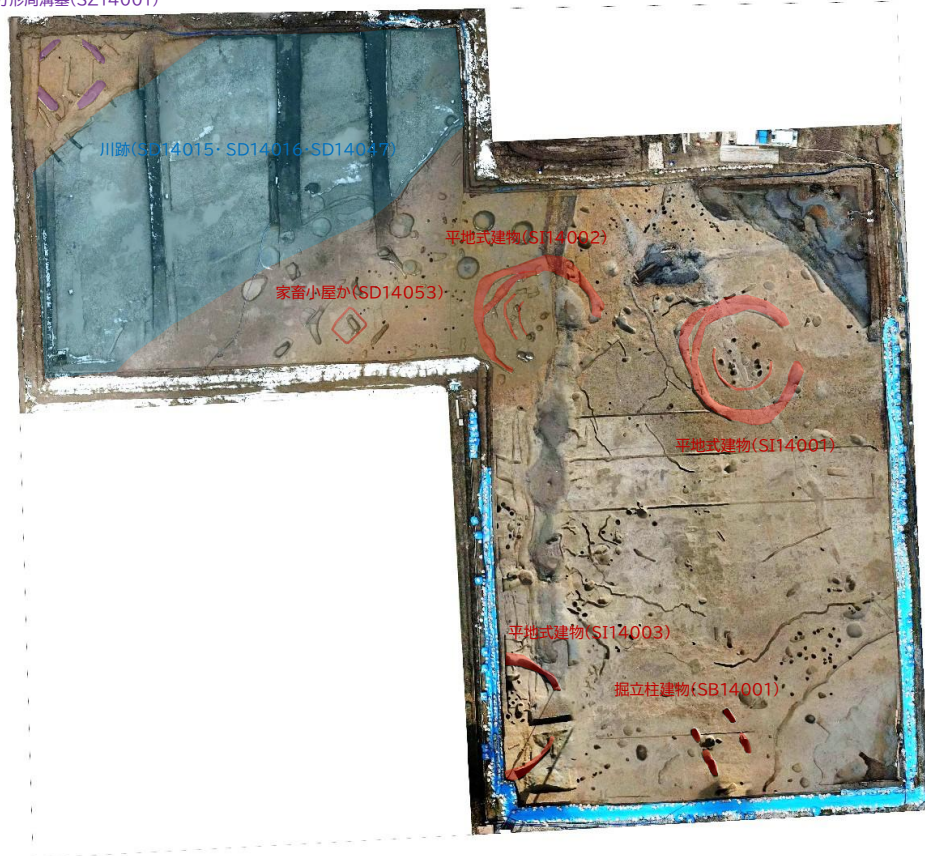
方形周溝は調査区北西側で検出された。四隅を掘り残す形状で、墳丘の規模は10.2mを測る。墳丘部及び主体部は後世の削平を受けている。

平地式建物は3棟検出された。SI14001は、幅約1.3mの溝が2条円形に巡る。2条の溝はほとんど同一の軌跡をたどっているが、明確な新旧関係があるため、建て替えがあったものと考えられる。建物は堅穴部を持つと考えられ、周溝の内側には壁際に板材などを据え付ける際の壁溝が確認できる。周溝の中心には4基の柱穴が梁・桁行1間×1間で配置されており、断面の観察から切り合うもう4基の柱穴は建て替え後ものと考えられる。柱穴及び周溝からは弥生時代中期後半の土器が出土した。SI14002、SI14003においても、弥生時代中期後半の土器が出土しており、同時期のものと考えられる。

調査区の西側では、3基の川跡が重複しながら南西から北東方向に延びる状況が検出された。川跡は幅約21mを測り、断面の観察からSD14015、SD14047、SD14016の順で埋まったものと考えられる。3基の川跡からは弥生時代後半～古墳時代前期の土器、木製品が出土しているが、特にSD14015の北西肩部からは多数の土器が集中して出土しており、北西側で検出された墓域との関係性が推測される。



方形周溝墓(SZ14001)



0m 12.5m 25m

南新保C遺跡14区 遺構全体図



平地式建物(SI14001) 完掘状況



平地式建物(SI14001)の柱穴(P14133) 土器出土状況



平地式建物(SI14002) 完掘状況



平地式建物(SI14003) 完掘状況



掘立柱建物(SB14001) 完掘状況



家畜小屋か(SD14053) 完掘状況



川跡(SD14015・SD14016・SD14047) 完掘状況



川跡(SD14016) 木製品出土状況

ふたまたごえ
A. 二俣越

【加越国境城跡群及び道】

所在地：①金沢市東長江町地内

②金沢市不室町地内

①北緯 36° 33' 34"

東経 136° 44' 58"

②北緯 36° 34' 35"

東経 136° 41' 53"

調査面積：①12 m² ②14 m²

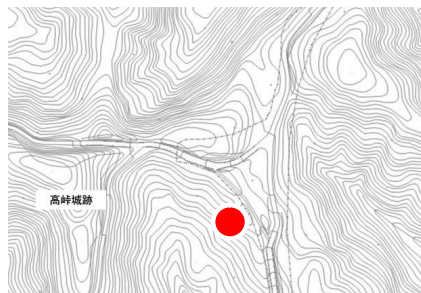
種別：道跡

主な時代：中世・近世

担当：向井 担当所長補佐



①東長江町



②不室町

■遺跡の概要

(1) 調査の目的

加賀と越中の国境を舞台に繰り広げられた前田利家と佐々成政の争いの痕跡を現在に伝える「加越国境城跡群及び道 切山城跡 松根城跡 小原越」は、平成 27 年 10 月に国史跡に指定された。この史跡は、城と道を一体的に価値付けして指定された日本で最初の事例であり、極めて貴重な歴史遺産であると評価されている。

それらと同様に街道を介して対峙した城郭と古道には、北側の朝日山城跡及び一乗寺城跡（小矢部市）と田近越、南側の高峰城跡及び荒山城跡と二俣越がある。

追加指定を目指した加越国境城跡群及び道の第 2 弾調査として、既指定南側に所在する高峰城跡を令和 3 年度、荒山城跡を令和 4・5 年度に実施し、令和 7 年度は二俣越で実施した。

(2) 加越国境城跡群及び道の歴史

織田信長亡き後の天下統一へ向け、天正 12 年（1584）、羽柴秀吉と織田信雄・徳川家康連合軍が尾張の小牧・長久手で争った。前年の賤ヶ岳合戦の後、秀吉に降伏することで越中に留まった佐々成政は、これを機に反秀吉へ方針転換し、加賀・能登を治める秀吉方の前田利家と敵対した。

小牧・長久手の合戦に関し、3 月 7 日付の織田信張（信雄家臣）の書状では、成政が信雄方へ内通したことが喧伝されている。「奥村伝書」によると、前田方は佐々内蔵助（成政）の寝返りに対して、松根に「取出」（城）を構えたが、9 月 8 日付の秀吉から利家宛ての返報では利家が内蔵助に「山」（城）を取られており、加越国境における戦略地点の攻防を物語っている。

松根城は小原越の最高峰に位置したことから、当初前田方が押さえたが佐々方に奪われ、前田方はそれに対抗するために約 4 km 加賀側へ下った場所に切山城を築造したと推察される。「垂相公御夜話」によると、田近越でも佐々方と戦闘が行われ、前田方は国境から加賀側へ約 3.5 km 入った所に朝日山城（金沢市）を築城している。

成政は8月に朝日山城を攻撃した後、9月には奥村永福が守る末森城（宝達志水町）を攻めるが、いずれも失敗する。天正13年になると、両者が国境付近への侵入を繰り返す中、しだいに前田勢が優勢になり、秀吉遠征軍の登場によって成政は降伏した。この後、越中の西半分が利家の長男利長に与えられたことで、加越国境付近の緊張状態は解消され、城郭群は不要になったと考えられる。

加越国境城跡群は、この天正12・13年に築造もしくは改修された城跡群と考えられる。

（3）二俣越の調査概要

道程の初見絵図は正保4年（1647）に作成された「加越能三箇国絵図」であり、金沢から若松、田島、二俣を通り越中小又へ至る。

二俣から越中への道程として、元禄12年（1699）の『改作所旧記』では、城端へ至る釜谷越と福光へ至る朴坂越の2筋が示されている。宝暦14年（1764）の『三州山川旧蹟志』には金沢から二俣への道程として、若松から角間、小二又を通り二俣へ至る道をオコ谷越、もう一筋として大樋から御所、長屋、夕日寺、伝燈寺、牧、小二又を通り二俣への道を三ノ坂越と呼称している。

以上のように、二俣越には金沢から若松を通り二俣へ至る道程と大樋から夕日寺などを通り二俣へ至る道程が存在するが、本調査では高峠城跡を通過する三ノ坂越ルートを対象とした。

なお、二俣越の記録は近世から見られ、多くの交通量があったことが知られている。近世に入ると、宿駅側が諸荷物の差し止めを繰り返し求め、これを支持する河北郡の十村役・加州郡奉行と、反対する砺波郡側の村役人や砺波・射水郡奉行の間で10回以上もの争論となったが、藩は争論毎に「古来よりの往来道」として確認し、差し止めた場合は多くの支障を来すとして否定している。

中世については不明であるが、一向宗寺院跡や城跡の分布などから、中世には既に道があったものと推定される。また、安政3年（1856）には13代藩主前田斉泰が参勤交代で利用しており、その際に敷設したと伝わる石畳の残欠が一部確認できる。

現存する道筋は現道や林道、作業道などとして現在も利用されているが、部分的には隣接して往時の道跡が残っている。

発掘調査は東長江町地区で1箇所、不室町地区で1箇所のトレンチを設定し、調査を実施した。

①東長江町地区での調査では、以下の結果が得られた。

- ・道路幅は約2.9m
- ・路面部分は概ね水平形状
- ・石敷きなどの路面構造は特にない
- ・幅約1.1m、深さ約0.5mの堀割を確認→旧二俣越の可能性
- ・東側斜面裾に幅約30cm、深さ20cmの溝を確認→排水溝の可能性

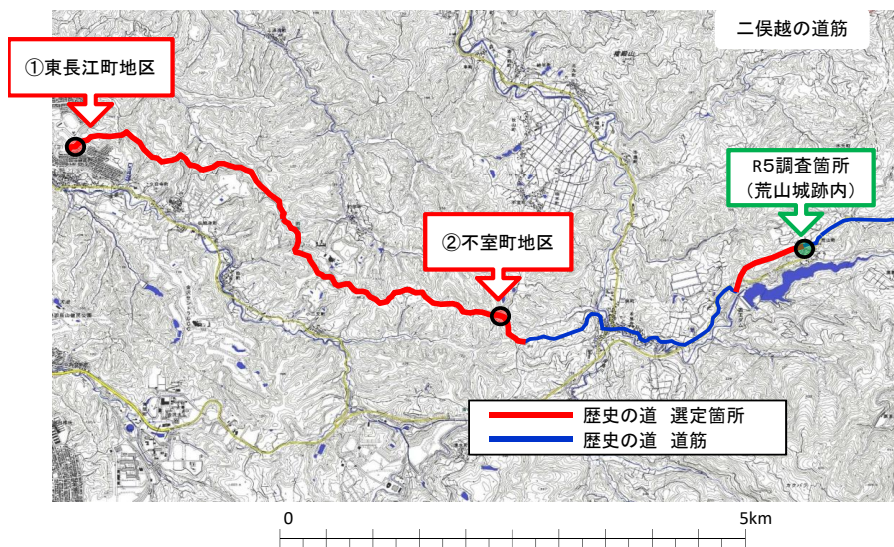
②不室町地区の調査では、以下の結果が得られた。

- ・道路幅は約3.7m
- ・路面部分は緩やかなU字形状
- ・石敷きなどの路面構造は特にない
- ・轍のような芯々幅約80cmの平行する溝跡検出→大八車の痕跡か

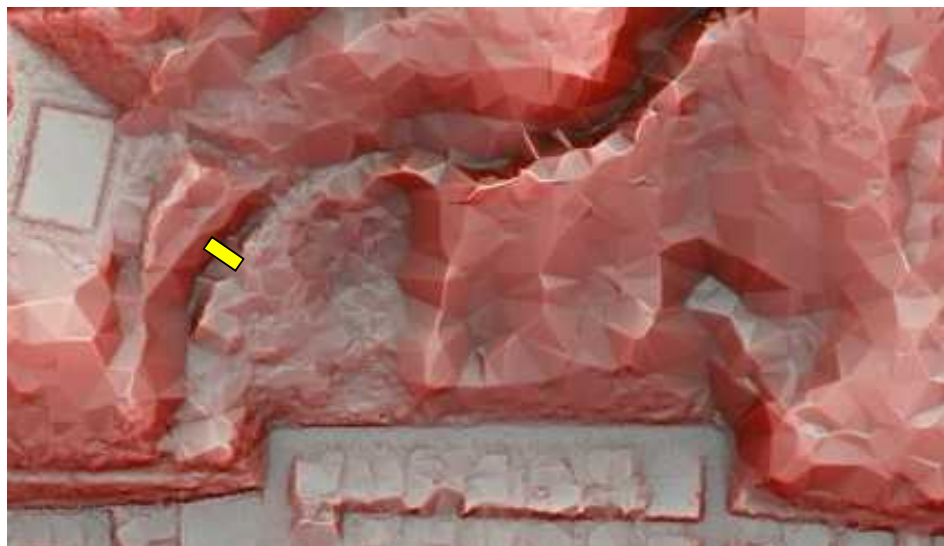
本年度の発掘調査では、二俣越の道幅や中世に遡る可能性がある旧二俣越が確認されたが、石敷きや硬化面などは存在しなかった。確認された推定旧二俣越は荒山城跡の調査時に確認された中世に遡ると考えられる道跡と形状や規模が類似することから、当初の二俣越であった可能性が高く、加越国境城跡群とそれらを繋ぐ古道に関する好資料といえる。



加越国境城郡と古道の位置図(天正12・13年頃を想定)



二俣越と調査位置



①東長江町地区



②不室町地区

二俣越調査位置



①東長江町地区 現況



①東長江町地区 検出状況



①東長江町地区 サブトレンチ掘削状況



①東長江町地区 掘削遺構検出状況 旧二俣越え



②不室町地区 現況



②不室町地区 検出状況



②不室町地区 サブトレンチ掘削状況



②不室町地区 サブトレンチ内溝検出状況

2. 埋蔵文化財分布調査事業

(1) 令和7年度埋蔵文化財分布調査の概要

金沢市では、公共事業に関する土木工事や建設工事等および民間の開発行為や農地転用の際に、金沢市道跡地図に基づき図面調査及び現地での踏査・試掘調査を実施し、開発事業者事前に埋蔵文化財の有無を確認している。

令和7年度は金沢市施工の公共事業7件、民間の開発事業・農地転用等101件について、埋蔵文化財の有無を調査した。以下はその一覧である。

なお、平成23年度より、開発事業に伴う試掘確認調査については国庫及び県費補助事業にて実施しており、令和7年度の事業費は4,750千円であった。

このほか、周知の埋蔵文化財包蔵地内における工事に伴うもので、文化財保護法第93条（民間業者や個人）及び第94条（工事主体が金沢市）に基づく慎重工事及び工事立会での対応となったものは18件、発掘調査での対応となったものは7件で、別表のとおりであった。

■ 公共事業に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	事 業 名	担 当 課	回答日	面 積	調査方法	有 無	対 応
1	塚崎地内	森本こどもグラウンド再整備事業	スポーツ振興課	4月14日	5,300㎡	試掘	無	支障なし
2	大手町34番、35番、36番1	金沢健康プラザ手術再整備事業	健康政策課	8月5日	2073.82㎡	試掘	無	支障なし
3	笠舞2丁目179番	笠舞第1児童公園遊具設置	緑と花の課	9月3日	1,400㎡	試掘	無	支障なし
4	三川町2丁目20番	図書館リニューアル工事	図書館総務課	9月24日		試掘	無	支障なし
5	香林坊2丁目49番1	往來銀行金沢支店跡地先行利用用地整備	企画調整課	3月17日	1,500㎡	試掘	無	支障なし
6	小町町222番1 外3番	用地売買	健康政策課	3月6日	1,490.88㎡	試掘	無	支障なし
7	本多町3丁目51-2	旧職員会館解体工事	総務課	3月23日	1,340.48㎡	試掘	無	支障なし

■ 民間の開発行為に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	行 為 の 内 容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結 果	対 応
1	近岡町855番1 外7番	店舗建設	4月10日	4月10日	4641.92㎡	試掘	無	支障なし
2	元菊町216番	住宅建設	4月11日	4月11日	172㎡	試掘	無	支障なし
3	駅西本町1丁目1101番1 外6番	店舗建設	4月16日	4月16日	2935.26㎡	試掘	無	支障なし
4	二宮町201番、202番	宅地造成	4月30日	4月30日	176.52㎡	試掘	無	支障なし
5	南森本町水53番1、54番1	事務所建設	5月8日	5月8日	1563.32㎡	試掘	無	支障なし
6	大手町111番	住宅建設	5月14日	5月14日	159.31㎡	試掘	無	支障なし
7	彦三町1丁目500番 外6番	住宅建設	5月15日	5月15日	219.77㎡	試掘	無	支障なし
8	元町1丁目39番1 外3番	銀行の支店の新築	5月16日	5月16日	1291.05㎡	試掘	無	支障なし

ID	場 所	行 為 の 内 容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結 果	対 応
9	石引4丁目325番	住宅建設	5月22日	5月22日	394.65㎡	試掘	無	支障なし
10	北塚町西91番、93番	住宅建設	5月23日	5月23日	404㎡	試掘	無	支障なし
11	広岡3丁目地内	ライブホール	5月27日	5月27日	1690.34㎡	試掘	無	支障なし
12	兼六元町225番	住宅建設	6月2日	6月2日	317㎡の一部	試掘	有	協議要 (金沢城下町遺跡)
13	諸江町中丁227番1 外2番	セレモニールホール	6月5日	6月5日	1650㎡	試掘	無	支障なし
14	入江2丁目359番	宅地造成	6月9日	6月9日	571.42㎡	試掘	無	支障なし
15	革町15番	不動産売買	6月9日	6月9日	394㎡	試掘	無	支障なし
16	末町16番90 外3番	宅地造成	6月10日	6月10日	2407㎡	試掘	無	支障なし
17	上荒屋4丁目10番	住宅建設	6月10日	6月10日	207.8㎡	試掘	無	支障なし
18	福増町南249番、249番2	店舗建設	6月12日	6月12日	527.21㎡	試掘	無	支障なし
19	割出町112番の一部(戸建)	戸建ての新築	6月13日	6月13日	692.54㎡	試掘	無	支障なし
20	割出町112番の一部(長屋)	長屋の新築	6月13日	6月13日	327.25㎡	試掘	無	支障なし
21	上堤町126番	事務所建設	6月16日	6月16日	1489.83㎡	試掘	無	支障なし
22	神田1丁目155番1 外2番	売却	6月17日	6月17日	1312.43㎡	試掘	無	支障なし
23	黒田1丁目208番1、209番	住宅建設	6月20日	6月20日	973㎡	試掘	無	支障なし
24	笠舞1丁目253番3	住宅建設	6月26日	6月26日	367.12㎡	試掘	有	協議要 (笠舞A遺跡)
25	押野2丁目216番3	住宅建設	6月27日	6月27日	115.65㎡	試掘	無	支障なし
26	寺中町水55番9	住宅建設	7月8日	7月8日	173.05㎡	試掘	無	支障なし
27	福増町南291番2	住宅建設	7月16日	7月16日	137.9㎡	試掘	無	支障なし
28	畝田西3丁目168番7	住宅建設	7月18日	7月18日	133.01㎡	試掘	無	支障なし
29	小立野1丁目98番	不動産売買	7月23日	7月23日	204.99㎡	試掘	無	支障なし
30	本江町505番	宅地造成	7月28日	7月28日	166.37㎡	試掘	無	支障なし
31	元菊町202番4	住宅建設	8月6日	8月6日	110㎡	試掘	無	支障なし
32	畝田西3丁目84番	住宅建設	8月12日	8月12日	92.34㎡	試掘	無	支障なし
33	金石本町二8番外	店舗建設	8月18日	8月18日	390.88㎡	試掘	無	支障なし
34	元菊町9番26	土地の売買	8月18日	8月18日	145.96㎡	試掘	無	支障なし
35	西金沢5丁目282番、283番	農地転用	8月25日	8月25日	526㎡	試掘	無	支障なし
36	下安原町西237番	工場・事務所建設	8月25日	8月25日	408㎡	試掘	無	支障なし
37	みどり1丁目89番1、89番3	住宅建設	8月26日	8月26日	224.69㎡	試掘	無	支障なし
38	狐草町28番	一部基礎新設	8月27日	8月27日	96.07㎡	試掘	有	協議要 (金沢城下町遺跡)
39	寺地1丁目314番1	住宅建設	8月29日	8月29日	132.37㎡	試掘	無	支障なし

ID	場 所	行 為 の 内 容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
40	大河端町14番1 外	資材置場	9月2日	9月2日	247.2 m ²	試掘	無	支障なし
41	塚崎町270番1の一部	住宅建設	9月3日	9月2日	238.22 m ²	試掘	無	支障なし
42	臥田西2丁目16番 外	店舗の建設	9月4日	9月4日	2311.92 m ²	試掘	無	支障なし
43	八日市3丁目425番、426番	住宅建設	9月4日	9月4日	131.42 m ²	試掘	無	支障なし
44	伏見新町271番1 外4筆	店舗の建設	9月5日	9月5日	2662 m ²	試掘	無	支障なし
45	西念3丁目2201番1	住宅建設	9月9日	9月9日	125.76 m ²	試掘	無	支障なし
46	神野2丁目56番	住宅建設	9月16日	9月16日	660 m ²	試掘	無	支障なし
47	橋場町94番	住宅建設	9月17日	9月17日	130.98 m ²	試掘	無	支障なし
48	兼六元町9番30	住宅建設	9月18日	9月18日	68.95 m ²	試掘	有 協議要 (金沢城下町通跡)	
49	兼六元町7番25	住宅建設	9月18日	9月18日	104.72 m ²	試掘	有 協議要 (金沢城下町通跡)	
50	末町六字55番 外7筆	店舗建設	9月25日	9月25日	2793.55 m ²	試掘	無	支障なし
51	兼六元町12番1の一部	集合住宅	9月26日	9月26日	77.36 m ²	試掘	無	支障なし
52	八日市出町93番	店舗建設	9月29日	9月29日	2961.74 m ²	試掘	無	支障なし
53	寺地2丁目20番、21番	住宅建設	9月29日	9月29日	738 m ²	試掘	無	支障なし
54	弥生3丁目22番1	店舗建設	9月30日	9月30日	2798.02 m ²	試掘	無	支障なし
55	新保本2丁目420番	売買予定	9月30日	9月30日	314 m ²	試掘	無	支障なし
56	金石本町10番1	住宅建設	10月16日	10月16日	797 m ²	試掘	無	支障なし
57	松村7丁目82番6	住宅建設	10月16日	10月16日	120.01 m ²	試掘	無	支障なし
58	諸江町130番1、131番1	共同住宅	10月17日	10月17日	1595 m ²	試掘	無	支障なし
59	下近江町43番	倉庫兼用住宅	10月17日	10月17日	104.24 m ²	試掘	無	支障なし
60	円光寺2丁目2番7	不動産売買	10月23日	10月23日	359.99 m ²	試掘	無	支障なし
61	笠舞1丁目222番1	用地売買	10月23日	10月23日	207 m ²	試掘	無	支障なし
62	古府町南621番	住宅建設	10月29日	10月29日	199.74 m ²	試掘	無	支障なし
63	押野3丁目58番 外2筆	農地転用	10月30日	10月30日	854 m ²	試掘	無	支障なし
64	山科1丁目68番	住宅建設	10月30日	10月30日	557.55 m ²	試掘	無	支障なし
65	大友3丁目40番	住宅建設	11月10日	11月10日	577 m ²	試掘	無	支障なし
66	松村5丁目99番 外2筆	宅地造成	11月10日	11月10日	1289.98 m ²	試掘	無	支障なし
67	本江町329番2	住宅建設	11月18日	11月13日	73.08 m ²	試掘	無	支障なし
68	田中町・横部町・高柳町地内	宅地造成	11月18日	11月18日	84516 m ²	試掘	有 協議要 (田中A通跡 高柳町四字通跡)	
69	駅西本町1丁目1101番2 外2筆	社宅建設	12月2日	12月2日	1002.82 m ²	試掘	無	支障なし

ID	場 所	行 為 の 内 容	申請日	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
70	率町30番1	住宅建設	12月2日	12月2日	597.45 m ²	試掘	無	支障なし
71	涌浪1丁目152番1 外2筆	農地転用	12月3日	12月3日	618 m ²	試掘	有 協議要 (塩崎蔵跡)	
72	寺地2丁目30番、31番	住宅建設	12月4日	12月4日	385 m ²	試掘	無	支障なし
73	大手町374番	住宅建設	12月5日	12月5日	369.04 m ²	試掘	無	支障なし
74	泉野町2丁目278番1	宅地造成・住宅建設	12月16日	12月16日	4197.84 m ²	試掘	無	支障なし
75	彦3町2丁目28番 外2筆	介護施設建設予定	12月17日	12月17日	926 m ²	試掘	無	支障なし
76	伏見台3丁目3番 外9筆	店舗開発	12月18日	12月18日	1799.17 m ²	試掘	無	支障なし
77	御影町491番 外2筆	事務所建設	12月19日	12月19日	382.34 m ²	試掘	無	支障なし
78	五郎島町118番1 外14筆	資材置場	12月23日	12月23日	4804 m ²	試掘	無	支障なし
79	彦3町1丁目674番 外1筆	住宅建設	12月23日	12月23日	199.16 m ²	試掘	有 協議要 (金沢城下町通跡)	
80	緑之丸町187番 外7筆	ドラッグストア建設	12月24日	12月24日	2105 m ²	試掘	無	支障なし
81	有松1丁目21番の一部	住宅建設	12月25日	12月25日	502.52 m ²	試掘	無	支障なし
82	示野町16番	社屋建設	1月7日	1月7日	8380 m ²	試掘	無	支障なし
83	寺地2丁目136番 外3筆	共同住宅建設	1月20日	1月20日	1125.79 m ²	試掘	無	支障なし
84	大友3丁目40番	店舗建設	1月20日	1月20日	330 m ²	試掘	無	支障なし
85	駅西本町3丁目1106番	住宅建設	2月10日	2月10日	107.97 m ²	試掘	無	支障なし
86	近岡町171番1	住宅建設	2月17日	2月17日	635 m ²	試掘	無	支障なし
87	臥田西3丁目96番	宅地造成	2月17日	2月17日	199.51 m ²	試掘	無	支障なし
88	彦3町2丁目135番 外4筆	平面駐車場	2月19日	2月19日	1092.84 m ²	試掘	無	支障なし
89	有松1丁目36番14 外1筆	住宅建設	2月20日	2月20日	115.58 m ²	試掘	無	支障なし
90	高島2丁目48番	宅地造成	2月20日	2月20日	273 m ²	試掘	無	支障なし
91	城南2丁目249番1	宅地造成	3月3日	3月3日	1542.66 m ²	試掘	無	支障なし
92	兼六元町56番3 外3筆	その他	3月5日	3月5日	3457.01 m ²	試掘	有 協議要 (金沢城下町通跡)	
93	古府町南600番1	住宅建設	3月11日	3月11日	m ²	試掘	無	支障なし
94	千木町130番	住宅建設	3月11日	3月11日	97.61 m ²	試掘	無	支障なし
95	寺地2丁目2番 外1筆	宅地造成	3月11日	3月11日	710 m ²	試掘	無	支障なし
96	三社町111番3	住宅建設	3月16日	3月16日	465 m ²	試掘	無	支障なし
97	高尾3丁目86番1 外1筆	住宅建設	3月16日	3月16日	100.57 m ²	試掘	無	支障なし
98	野町5丁目93番	宅地分譲	3月19日	3月19日	274.29 m ²	試掘	無	支障なし
99	大和町93番	住宅建設	3月19日	3月19日	3756.92 m ²	試掘	無	支障なし
100	金石本町21番4 外1筆	住宅建設	3月23日	3月23日	109.3 m ²	試掘	無	支障なし
101	尾山町190番1 外1筆	共同住宅建設	3月24日	3月24日	166.9 m ²	試掘	無	支障なし

■（別表）土木工事のための発掘届・発掘通知一覧

ID	届・通知の別	場 所	行 為 の 内 容	届出日	取 扱 通知日	面 積	遺跡名	対 応
1	94条(通知)	小鴨町1番15地内	下水道新設	4月15日	4月15日	15,000.00 m ²	金沢城下町遺跡(奥村氏(支家)屋敷跡地区)	発掘調査
2	94条(通知)	材木町388番地	道路工事、貯留施設築造工事	5月20日	5月20日	9,132.00 m ²	材木町遺跡(13番地点)	発掘調査
3	93条(届)	大森2丁目272番	個人住宅建設	5月31日	5月31日	170.13 m ²	大森アナグチ遺跡	慎重工事
4	93条(届)	戸板1丁目139番	個人住宅建設	6月12日	6月12日	236.70 m ²	薬師堂遺跡	工事立会
5	93条(届)	兼六元町182番地	駐車場造成	7月10日	7月10日	969.68 m ²	金沢城下町遺跡(兼六元町11番地点)	工事立会
6	93条(届)	笠舞1丁目253番3	個人住宅建設	7月4日	7月4日	367.12 m ²	笠舞A遺跡	慎重工事
7	93条(届)	矢木2丁目68番10	個人住宅建設	7月16日	7月16日	175.07 m ²	矢木ヒガシウラ遺跡	慎重工事
8	93条(届)	大友1丁目34、35、1013、1014	南新保土地区画整理	6月9日	6月9日	1,350.00 m ²	南新保ゴママチ遺跡	発掘調査
9	93条(届)	駅西本町1丁目1019番	集合住宅建設	8月20日	8月20日	917.00 m ²	駅西本町1丁目遺跡	発掘調査
10	93条(届)	南新保町字11、12、33-1、34-1、35-1、35-2、36-1	南新保土地区画整理	9月5日	9月5日	4,600.00 m ²	南新保C遺跡	発掘調査
11	93条(届)	香林坊2丁目298番	ホテル建設	8月27日	8月27日	315.74 m ²	金沢城下町遺跡(西外惣構跡香林坊2丁目12番地点)	発掘調査
12	94条(通知)	石引1丁目206番地	水道管移設工事	9月24日	9月24日	3.00 m ²	辰巳用水	工事立会
13	93条(届)	瓢箪町20番、28番	増築	10月20日	10月20日	92.60 m ²	金沢城下町遺跡(西外惣構跡瓢箪町地点)	工事立会
14	94条(通知)	戸板1丁目1	プレールーム増築	9月29日	9月29日	19,326.00 m ²	出雲じいさまだ遺跡	発掘調査
15	93条(届)	木曳野2丁目21番	個人住宅建設	11月14日	11月14日	195.42 m ²	畝田・寺中遺跡	工事立会
16	93条(届)	伏見台3丁目156番	事務所兼用住宅新築工事	12月19日	12月19日	269.09 m ²	寺地向田遺跡	工事立会
17	93条(届)	近岡町101番1号	個人住宅建設	1月19日	1月19日	150.42 m ²	近岡シタンド遺跡	工事立会
18	93条(届)	彦三町1丁目674番、675番	個人住宅建設	3月3日	3月3日	199.16 m ²	金沢城下町遺跡(彦三町1丁目15番地点)	工事立会

3. 教育・普及・啓発活動事業

(1) 金沢縄文ワールド

① 概要

金沢市いなほ1丁目に所在する中屋サワ遺跡は、縄文時代晩期を主体とした多量かつ多様な土器や漆塗製品を含む木製品、石製品などが出土した遺跡である。特に漆塗製品は遺存状態が良好なものが多く、編みカゴを漆で塗り固めた籃胎漆器、漆塗りの装飾弓、腕輪、堅櫛など、多彩な遺物が出土しており、当時の漆工技術の実態がよく示されている。縄文土器には北陸地方の縄文時代晩期の形式をよく示すだけでなく他地域の影響が見られるものも含まれている。これらは北陸地方における縄文時代晩期の文化と生活様式を良く示しているとして、平成26年8月21日に重要文化財に指定された。

チカモリ遺跡は金沢市新保本5丁目に所在し、昭和50年代の発掘調査で環状木柱列と呼ばれる半截したクリ材を円形に立て並べた建造物が確認されたほか、計349点にも及ぶ木柱根が出土している。遺跡は中心部がチカモリ遺跡公園として整備され、昭和62年2月23日に国史跡に指定されたほか、出土した木柱根のうち57点が石川県指定文化財に指定されている。

金沢市では、これら縄文時代晩期の貴重な資料を適切に保管するとともに広く一般に展示・公開する施設として、金沢市埋蔵文化財センター内に「金沢縄文ワールド」を設置した。館内には常設展示コーナーと企画展示コーナーを設け、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」を主体に様々な視点から金沢市内の縄文時代を紹介する展示を行っているほか、2階には勾玉作りや歴史文様しおり作りなどの各種古代体験に挑戦できる縄文体験コーナーを併設している。また、重要文化財指定物件を保管する特別収蔵庫を併設し、貴重な考古資料の保存継承を図っている。

所在地 石川県金沢市上安原南60番地 金沢市埋蔵文化財センター内

開館時間 9時30分から17時00分まで（入館は16時30分まで）

休館日 月曜日、年末年始（12/29～1/3）

※月曜日が祝日の場合は開館し、その次の平日に休館

入館料 無料

入館者数	平成27年度	1,111人（平成27年11月8日～平成28年3月31日）
	平成28年度	3,102人（平成28年4月1日～平成29年3月31日）
	平成29年度	3,209人（平成29年4月1日～平成30年3月31日）
	平成30年度	3,803人（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
	令和元年度	3,810人（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
	令和2年度	2,148人（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
	令和3年度	1,981人（令和3年4月1日～令和4年3月31日）
	令和4年度	2,225人（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
	令和5年度	2,390人（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
	令和6年度	1,988人（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
	令和7年度	2,233人（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

③ 企画展示

企画展示コーナーでは、常設展示とは別に、毎回異なるテーマに基づいた展示を行い、金沢を中心とした北陸地方の遺跡と出土遺物を紹介している。令和7年度は4回の企画展を開催した。ポスター等の印刷費には、一部文化庁の補助金を充てている。

企画展「D-1 グランプリ縄文時代編」

- 会 期 令和7年6月14日（土）～令和7年8月31日（日）
概 要 金沢市内の縄文時代前期から晩期の土器の優品を展示。これに併せ、
「D（土器）－1 グランプリ」と称した人気投票を開催し、来館者人気No.1 縄文土器を投票により決定した。

企画展「戦国金沢の山城」

- 会 期 令和7年9月6日（土）～令和7年12月7日（日）
概 要 金沢市内で発掘調査を実施した8つの戦国時代金沢の山城について、それぞれの山城の特徴や発掘調査で明らかになったことなどをわかりやすく展示し解説した。

企画展「城下町金沢の出土品」

- 会 期 令和7年12月13日（土）～令和8年3月8日（日）
概 要 金沢市内の城下町遺跡（14遺跡）から出土した膨大な遺物の中から、染付を中心に精巧で品格のある陶磁器類を厳選して紹介した。

企画展「石川中央都市圏歴史資料展～時代が動いた転換点編～」

- 会 期 令和8年3月14日（土）～令和8年5月31日（日）
概 要 石川中央都市圏に属する金沢市、かほく市、野々市市、白山市、内灘町、津幡町の4市2町が連携して行う巡回展示である。平成29年度から毎年、対象とする時代を変えて行っており、9回目の開催となる。「時代が動いた転換点」をテーマに各市町の歴史・考古・民俗資料などを展示した。

展示資料

- 【金沢市】…「百姓ノ持タル国」の成立、加賀百万石の礎
高尾城跡、砂子坂道場跡、南森本遺跡、金沢城下町遺跡出土品等
【かほく市】…海だった河北潟、縄文時代の食と生活、親子の絆『母子像』
上山田貝塚出土品
【野々市市】…御経塚遺跡、富樫館跡
御経塚遺跡・富樫館跡出土品、牽馬図
【白山市】…古代の荘園、中世の一向一揆最後の砦
横江荘遺跡・鳥越城跡・二曲城跡出土品
【津幡町】…古代北陸道、河北潟に通じる運河
加茂遺跡出土品
【内灘町】…「北陸の宝塚」栗ヶ崎遊園、戦後初の米軍基地反対運動「内灘闘争」
栗ヶ崎遊園・内灘闘争関係資料



「D-1 グランプリ縄文時代編」ポスター



「戦国金沢の山城」チラシ



「城下町金沢の出土品」チラシ



「石川中央都市圏歴史資料展～時代が動いた転換点編～」チラシ

④ 縄文文化体験コーナー

金沢縄文ワールドの開設に併せ、金沢市埋蔵文化財センターの2階に縄文文化体験コーナーを併設し、様々な縄文体験を無料で実施している。同コーナーの体験メニューはいつでも体験できる**通年メニュー**と、3月毎に内容が変わる**期間限定メニュー**の2種類がある。いずれも縄文時代の文化や生業を追体験できる内容となっており、当館の体験型展示コンセプトの一翼を担っている。

通 年 メ ニ ュ ー 勾玉作り 拓本作り ペーパークラフト ぬりえ 歴史文様しおり作り

期間限定メニュー くみひも作り（4～6月）うでわ作り（7～9月）土笛作り（10～12月）
縄文コースター作り（1～3月）

※ペーパークラフトは金沢縄文ワールドのホームページでダウンロードできる。

https://www4.city.kanazawa.lg.jp/bunka_sports_kanko/rekishi_bunkazai/6/4/18151.html

利用実績	令和 2年度	1,111人（令和 2年 4月 1日～令和 3年 3月31日）
	令和 3年度	988人（令和 3年 4月 1日～令和 4年 3月31日）
	令和 4年度	1,165人（令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月31日）
	令和 5年度	1,471人（令和 5年 4月 1日～令和 6年 3月31日）
	令和 6年度	1,107人（令和 6年 4月 1日～令和 7年 3月31日）
	令和 7年度	1,105人（令和 7年 4月 1日～令和 8年 3月31日）



体験コーナーでの勾玉作りの様子



勾玉



ペーパークラフト



歴史文様しおり

⑤ 金沢縄文ワールド見学バス助成制度

金沢縄文ワールドでは、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」等の展示を通して本市の縄文遺跡の魅力を紹介している。また、併設する縄文体験コーナーでは、勾玉作りなど様々な縄文文化を無料で体験することができる。当館では、金沢縄文ワールドを初めとした本市及び近郊の縄文遺跡の見学・体験を希望する小学校や関連団体に対し、往復のバス使用料を助成する制度を実施しており、歴史学習や校外活動に活用されている。なお、助成金には文化庁の補助金を充てている。

見学コースは下記の4コースを設定しており、申込団体が希望するコースを選択できる。見学バス助成は予算上10団体程度を募集しているが、助成に依らない団体見学は随時受け入れている。

令和7年度は6月に市内小学校3校がこの制度を利用した。

① 展示見学コース —金沢縄文ワールドの展示と館内の見学—

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、館内設備見学）

所要時間 約40分

② 縄文文化体験コース —金沢縄文ワールド展示見学と縄文体験—

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、縄文体験（勾玉作り等））

所要時間 約90分

③ 縄文文化探訪コース —金沢縄文ワールド展示見学と近郊の縄文遺跡めぐり—

行 程 金沢縄文ワールド、御経塚遺跡公園、チカモリ遺跡公園

所要時間 約120分

④ 古代の里探訪コース —金沢縄文ワールド展示見学とふるさとの国史跡めぐり—

行 程 金沢縄文ワールド、上荒屋史跡公園、東大寺領横江荘遺跡荘家跡
御経塚遺跡公園、チカモリ遺跡公園

所要時間 約120分

利用実績	令和 2年度	2団体	82人
	令和 3年度	5団体	305人
	令和 4年度	9団体	347人
	令和 5年度	7団体	434人
	令和 6年度	3団体	108人
	令和 7年度	3団体	163人



助成制度によるバス運行

（２）歴史ふれあい講座

当センターでは平成 12 年度より、職員が市内の小学校へ出向き、郷土の歴史と埋蔵文化財について

小学校 6 年生に講義を行う「歴史ふれあい講座」を行っている。

講座では、縄文時代から古墳時代までの各時代の特徴解説、各校区内の遺跡出土品を含む市内遺跡からの出土品の見学、勾玉作り体験または火起こし体験、などを行っており、社会科の歴史授業を補完しつつ郷土の歴史と遺跡の発掘調査について理解を深める内容となっている。また、現在の生活と埋蔵文化財との接点を紹介し、遺跡を身近に感じることを目的として、各校区内に分布する埋蔵文化財包蔵地や指定文化財を記した文化財マップも同時配布している。

平成 22 年度からは、金沢文化財ボランティア「うめばちの会」の協力のもと、公私共同で事業を展開している。令和 7 年度は 4 月 23 日の西南部小学校から始まり、6 月 17 日の三和小学校に終わる 15 校で開催した。うち 13 校が勾玉作りコース、2 校が土器実見コースを行った。参加児童数は 1,018 名で、平成 12 年度からの累計は 41,207 名となった。

《過去5年の事業実績》

実施年度	学校数	講座数	参加人数
令和3年度	12	26	838
令和4年度	23	39	1,297
令和5年度	25	53	1,663
令和6年度	27	65	1,800
令和7年度	15	36	1,018



勾玉づくり体験

（３）金沢こども歴史探検隊

金沢市埋蔵文化財センターでは、将来を担う子どもたちを対象に、市内の史跡・建造物など実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動「金沢こども歴史探検隊」を平成 15 年度より実施している。この活動は、ふるさとの歴史をより深く理解してもらうことで、地域と協働して貴重な歴史文化遺産を護っていく「金沢型の文化財保存活動」の実現をめざす環境を醸成することを目的としている。

第 25 回目となる令和 7 年度は、「チャレンジ！遺跡体験発掘 S 6（シーズンシックス）」と題したこどもを対象とした参加型の体験発掘と大人を対象とした発掘体験を午前と午後に分けて実施した。場所は南新保 C 遺跡で、こども対象の体験発掘は、遺跡の発掘作業を体験し、遺構・遺物を実際に触れることで、埋蔵文化財とその発掘調査業務に対する理解と関心を深めることを目的とした。また、大人を対象とした体験発掘「オトナ遺跡体験発掘」はリアルな遺跡の発掘作業を体験することで、「遺跡とは何か」「なぜ発掘調査が行われるのか」など、知る機会の少ない「遺跡の発掘調査」という仕事の必要性和魅力を感じてもらった。

《過去5年の事業実績》

実施年度	タイトル
令和3年度	チャレンジ！遺跡体験発掘R
令和4年度	チャレンジ！遺跡体験発掘S3
令和5年度	チャレンジ！遺跡体験発掘S4
令和6年度	チャレンジ！遺跡体験発掘S5 オトナ遺跡体験発掘
令和7年度	チャレンジ！遺跡体験発掘S6 オトナ遺跡体験発掘

今後も同様のイベントを継続して実施し、金沢の豊富な歴史文化遺産を次世代へと守り伝える環境の醸成に努めていきたい。

なお、会場となった南新保遺跡群については、本書 21～27 頁を参照いただきたい。

【概要】

- ・ チャレンジ！遺跡体験発掘 S 6 開催日時：令和 7 年 10 月 11 日（土）午前 9 時半～11 時半
参加者：5 名
- ・ オトナ遺跡体験発掘 開催日：令和 7 年 10 月 11 日（土）午後 13 時半～16 時
参加者：16 名



（４）市民ふるさと歴史研究会『戦国金沢の山城』

市民ふるさと歴史研究会は、金沢市内の発掘調査等による成果を市民に伝えることを目的として、平成 16 年（2004）から実施している市民参加型の講演会である。

令和 7 年度は金沢縄文ワールド企画展「戦国金沢の山城」の開催と連携し、市内で発掘調査が実施された、堅田城や高尾城・砂子坂道場などの加賀一向一揆関連遺跡、切山城・松根城などの加越国境城跡群の調査成果を報告する講演会を開催した。

講演会後は企画展示室にて展示品の列品解説を実施し、質疑応答の後、終了した。

実施日：令和 7 年 11 月 16 日（日）13:30～15:30

会 場：金沢市埋蔵文化財センター 映像学習室および金沢縄文ワールド企画展示室

参加者：38 名



（５） 史跡活用事業

本市では、郷土の歴史・文化と埋蔵文化財についての理解を深め、文化財愛護の精神を培う機会を創出することを目的として、対象とした史跡及び埋蔵文化財を活用した各種イベントを開催している。実施にあたっては金沢文化財ボランティア「うめばちの会」に協力を要請しているほか、経費の一部に石川県史跡整備市町協議会からの補助金を充てている。

【チカモリ縄文まつり】

国史跡「チカモリ遺跡」の縄文時代の遺構を復元したチカモリ遺跡公園を会場に、縄文時代の生活を体験するイベントを平成7年度より行っている。

実施日：令和7年6月1日（日）

開催場所：チカモリ遺跡公園

主な内容：火起こし 勾玉作り 縄文解説ツアー
縄文アクセサリ作り 貫頭衣試着等
埋蔵文化財収蔵庫見学

参加者：約500名

委託先：金沢市西南部公民館振興協力会



勾玉つくり体験

【史跡フェスタみわ】

国指定史跡東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡の奈良・平安時代の初期荘園の風景を再現した上荒屋史跡公園を題材に、奈良・平安時代の生活体験イベントを平成9年度より行っている。

実施日：令和7年7月12日（土）

開催場所：金沢市三和公民館

主な内容：火起こし 勾玉作り 土器作り
しおり作り 土器パズル 古代食試食
平安時代衣装試着

参加者：約150名

委託先：金沢市三和公民館振興協力会



火起こし体験

【チカモリ学習会】

チカモリ縄文まつりの一環として、地域住民に国史跡チカモリ遺跡や縄文時代の生活について理解を深める内容の学習会を開催。

実施日：令和7年7月12日（土）

開催場所：金沢市西南部公民館

演題：縄文時代と土器文化

講師：埋蔵文化財センター 鏡主事

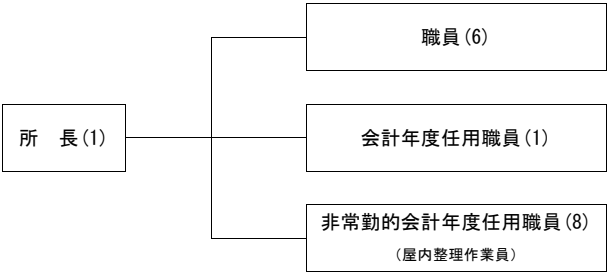
参加者：31名



チカモリ学習会

4. 組織

令和 8 年 3 月 31 日現在



令和 7 年度

金沢市埋蔵文化財調査年報

令和 8 (2026) 年 3 月 31 日発行

発行 金沢市

編集 金沢市埋蔵文化財センター

〒920-0374

石川県金沢市上安原南 60 番地

TEL 076-269-2451

FAX 076-269-2452

mail:maibun@city.kanazawa.lg.jp